



小暮ひろし市議会報告 (第20号)

〒327-0824 佐野市馬門町1597 ホームページ: <http://www.kogure-hiroshi.com> TEL・FAX: 0283-23-8263 E-mail: kogurehi@sctv.jp

紙面

- ・ 東日本大震災発生から3年 ・ 平成26年 第1回定例議会(2月28日～3月25日)
- ・ 平成26年 第1回消防組合議会(2月4日)

東日本大震災発生から3年(3月11日)

河川堰や高い堤防の建設が進んでいますが、復興はこれからだと思います。

現在、佐野市にも76世帯、200名ほどの方が、全国では26万人ほどの方が避難しておられるとの事です。



河川堰と右の高い堤防

平成26年 第1回消防組合議会

今年4月に岩舟町が栃木市に合併することにより、昭和48年4月に76人体制で業務を開始した広域消防組合は、平成26年3月31日に41年の歴史を閉じます。

最後となる、平成25年度の補正予算が審議されました。負担金は、10%を均等割り、90%を人口割り(佐野市86.9%、岩舟町13.1%)等とし、佐野市が15億5,951万円、岩舟町が2億5,400万円です。

東分署は栃木市に移管され、消防職員160人は、全て佐野市に戻り、人員及び装備の充実を進めて行くこととなります。

又、平成28年に竣工予定の消防庁舎は、現在の東側に予定され、佐野市で進めます。(建物が12億9,805万円、消防デジタル無線等7億1,508万円)

(平成25年火災概要)

出火原因：たき火 28件、放火の疑い 8件
電気配線 8件、その他 41件

平成26年 第1回定例議会

今回の定例議会では、議員提案1件、報告1件、議案60件の他に決議書1件、意見書1件、陳情3件が提出され、審議されました。

決議書：特殊詐欺を撲滅し、安全・安心を確保
意見書：国民の祝日「山の日」の制定を求める
陳情：都市計画道路3・4・208高萩東西線 他2件
最終日に予算とし、雪被災者支援費3億円(自己負担1/10に半減)、林道復旧費699万円等が可決。
特に、以下の内容について記述します。

- (1) 平成26年度予算特別委員会
- (2) 一般質問 (小暮ひろしの質問)
- (3) 陳情3件中1件

(1) 平成26年度 予算特別委員会

平成26年度の一般会計、特別会計、企業会計予算は、下表の如くです。一般会計は過去最高の506億6,000万円となり、前年より9.3%の伸び率です。

予算規模の大きくなった理由として、本庁舎の建設関係57.4億円、消防庁舎関係10.2億円などあるためです。

平成26年度 一般・特別会計予算歳出状況

	26年予算	対前年比(%)	対前年増減額
一般会計 歳出	50,660	9.3	4,290
人件費	9,373	11.5	966
物件費	5,437	8.8	439
維持補修費	894	△ 4.4	△ 41
扶助費	8,740	△ 0.2	△ 19
補助費等(負担・交付金)	3,239	△ 26.3	△ 1,156
普通建設事業費	9,353	100.2	4,682
公債費	5,348	1.6	85
その他	8,276	△ 7.5	△ 666
特別会計 歳出	33,034	12.8	3,738
国民健康保険(事業)	13,993	1.3	184
国民健康保険(直営)	321	2.7	8
公共下水道	7,086	104.6	3,623
農業集落排水	166	0.7	1
自家用有償バス	138	25.5	28
介護保険(保険)	9,651	5.0	463
介護保険(介護)	47	△ 15.7	△ 9
後期高齢者	1,238	8.1	93
佐野田沼インター	210	△ 56.2	△ 270
西浦・黒袴第2工区	183	△ 67.8	△ 385
企業会計 支出	4,875	11.8	513
水道事業	3,553	3.6	125
病院事業	1,323	41.5	388
合計(百万円)	88,569	10.7	8,540

平成26年の、予算審査特別委員会が4日間開設され、一般会計に16人、特別・企業会計に11人が質問しました。
(小暮ひろしは両予算案を質問)

予算の主な特徴内容を示します。

〈一般会計〉

- ・ 消防職員160名の佐野市移動による人件費増。
(消防負担金:16.3億円が減り、人件費:11.2億円が増加)
- ・ 消費税8%による、負担軽減策として給付金有。
(臨時福祉給付金:3億円(1人1万円)、子育て世帯臨時特例給付金:1.46億円(1人5千円)---所得条件等により給付)
- ・ 普通建設事業費が、今年は約2倍に増加。
(今年の主な事業。新庁舎建設:57.4億円、葛生行政センター:1.8億円、消防本部:3.2億円、消防救急デジタル無線:7.0億円。)
- ・ 扶助費の中で、支出額の大きい事業。
(児童・児童扶養手当:24.5億円、介護・訓練等給付費:18.7億円、生活保護費:18.4億円)



〈特別会計〉

- ・ 公共下水道業特別会計では、渡良瀬川上流流域下水道を栃木県から移管を受ける費用として、今回かぎりの38億円が発生。

〈事業会計〉

- ・ 病院事業会計の長期収支計画が直され、平成27年の収支の黒字は難しく、平成29年まで交付金の年約4億円が続く。

(2) 一般質問 (小暮ひろしの質問)

** 子育て環境について **

今回、子育て環境の一層の改善要望を市民から聞き、そして、現在の状況と他市の状況を比較して見た中で、佐野市の状況を質問しました。

- ①待機児童数及び保留児童数は、現在どの様になっているのか。
- ②佐野市として、待機児童数や保留児童数を完全に無くすために、どのように進めて行ったら良いと考えているのか。
- ③病児・病後児保育を、平成26年度に計画中的のことだが、どの様なものができるのか。
- ④放課後児童クラブの小学6年生までの対応につい

て、現在、どの様に考えているのか。

(答弁)①2月1日現在で待機児童はないが、希望場所に行けない保留児童は149名あり。

②今後も新制度を見すえ、幼稚園による認定こども園や民間保育園の整備・拡充を促進する。

③怪我や病気の回復期にあり、集団保育が困難で、家庭の都合により保育が難しい乳幼児及び小学校3年生までの児童を一時的にお預かりするもの。

④現在、民間こどもクラブへの業務委託の拡大を図り進めている。今後、公立こどもクラブも、平成26年度に策定する計画の中で6年生までの受け入れを検討する。

** 公共施設のバリアフリーについて **

これからの社会を見たとき、高齢者や障がい者などの自立した日常生活や社会生活を確保するために、バリアフリー化の推進は益々強くなっていくと思います。

バリアフリー化に向けた具体的な事例になりますが、多くの方が集まる茂呂山老人福祉センターにおきましては、車いすの利用者で、2階に上がれず不便をきたしている。又、他の建物のエレベータ設置要望等はどの様な状況かを質問。

(答弁)茂呂山老人福祉センターの車いすの方は年数件と伺っている。リフターの要望は聞いていないとのこと。

(小暮:身体の不自由な方の来場が少なく、要望する人も少なくなっていると考えられないか。)

** 再生可能なエネルギーについて **

佐野市は県内で最も木質バイオマスの利用可能量が多い地域となっているようです。バイオマスによる発電の可能性の検討や再生エネルギーの調査状況を質問。

(答弁)木質バイオマス発電は民間で稼働中、本市は太陽光発電をはかっている。又、まちづくりの観点からも再生可能エネルギーを調査することを考えている。

(3) 陳情3件中の1件

陳情1号 都市計画道路3・4・208高萩東西線に関する陳情(賛成多数で可決)

(趣旨)高萩町北部の未整備都市計画道路の早期完成を願うものであります。

(答弁)平成31年以降の中長期計画に入っており、その様な予定となっております。

(私見)安全な街づくり、交通渋滞の緩和等から、早期整備が必要かと考えます。